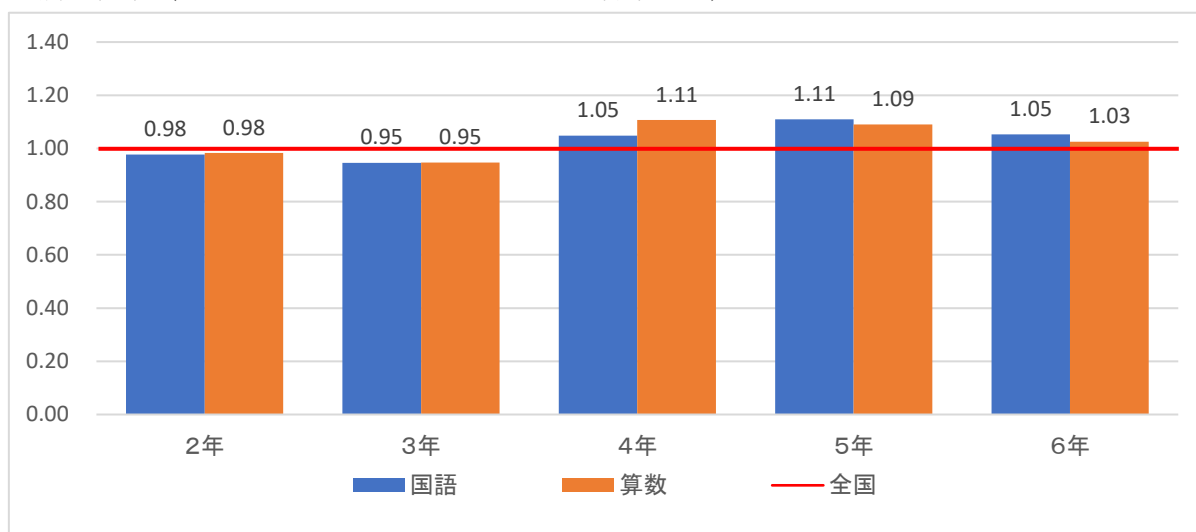


令和6年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 中木田中学校区 木田小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	学習の基礎となる「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、すべての学年において全国値を上回っており、「話すこと・聞くこと」の領域においても良好な結果であった。
	算数	「数と計算」「データの活用」領域については、すべての学年において概ね全国値を上回る良好な結果であった。今後は、「思考力・判断力・表現力」の育成に向けた取組を充実させていく。
全国学力・学習状況調査	国語	「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」の観点において、全国値を上回る良好な結果であった。一方「我が国の言語文化に関する事項」については、課題がみられた。今後は、子どもたちの語彙力の向上に取り組んでいく。
	算数	「数と計算」「変化と関係」領域については、全国値を上回る結果であり、その他の「図形」「データの活用」領域についても全国値と概ね同等の結果であった。これまでの学力向上の取組が成果として表れている。
	質問紙	「学習内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげている」という質問においては、全国値を上回る結果となっている。一方、学校以外での学習時間は短く、ゲームやSNS等に費やす時間は多い傾向がある。引き続き、子どもたちが自主的に学ぶ力の育成に努めていく。

○学力向上の取組

【中学校区】

中学校区3校での合同研修・授業交流と共に全国学力・学習状況調査の結果の共有を行い、「考える力」を身に付け、たくましく生き抜く子の育成を図るため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを推進している。各教科における小中一貫カリキュラムを踏まえ、小学校から中学校へつながる「家庭学習ノート」の取組や小学6年生の中学校登校日の設定、小6と中3のディベート交流など、小中一貫校として9年間を通した取組を推進している。

【学校】

各種調査結果の分析を通して、本校の子どもたちの強みや課題を踏まえた上で、寝屋川スタンダードに基づく子どもが主体的に学びに向かう授業を、引き続き推進していく。全教員による複数回の校内公開授業及び校内研究授業等を通して、教員自身が主体的にベクトルを揃えて授業改善を目指すことで、学校としての教育力の向上や子どもたちの「考える力」「生き抜く力」「非認知能力」の育成を図る。